

《2017年 輝いた人々》

☆杉山礼央奈さん(株式会社共進 品質保証部：写真左)  
☆依田 結香さん(株式会社共進 営業技術部：写真右)



今回は、リケジョ(理系女子の略語)お二人からお話を伺いました。杉山さんは、奈良県出身。信州大学農学部卒業後、専門性が求められる会社と想っていたが、多様な分野からの人材を受け入れていることに共鳴し、株式会社共進に入社。現在品質保証部で5年のキャリア。「奈良に帰る予定は？」の質問に「学生時代を過ごしたこの信州で好きな仕事を続けていきたい」と笑顔で答えてくれました。依田さんは岡谷市出身。諏訪東京理科大学卒業後、大好きな理数の知識がものづくりに活かされる会社であることを知り、入社。2年目の彼女は、今年ドイツで開催されたCOMPAMED(展示会)に参加し、「世界から多くのことを学んだ。この経験はこれからの自分の仕事に活かしていきたい」と、夢を語ってくれました。

「リケジョ」と言われることには、「自分達は好きな仕事を楽しんでいるので、意識することはありません」として、「職場の中で女性目線の必要性を感じている」「役職に就く事は一日一日の積み重ねの先にあると思う」と付け加えられました。

お二人のお話や態度から、彼女たちは性別を意識することなく極自然体で、好きな仕事に取り組んでいる様子が強く心に残り、この地で末永く活躍して欲しいと思いました。

☆女性100年会議@諏訪☆

私達「女性100年会議@諏訪」のメンバーは、11月11日に諏訪市議会の議場をお借りして、模擬議会に挑戦させていただきました。

今では「人生100年時代」はあたりまえのように語られております。そこで私達は、この諏訪でどう生きていきたいのか？どんな暮らしをしたいのか？女性の目線で、自分たちの新しい人生設計を立て、ワークショップ等を通じて意見交換し、中間点ではありますが模擬議会という形で発表の場を設けました。



特に若い女性メンバーの人達が「生活の中に政治がある」と関心をもち、積極的に参加していただけたことを嬉しく思っています。皆が努力を重ねて提案した意見がひとつのきっかけとして花開くことを祈っております。  
代表 佐藤 よし江

《ともに生きる諏訪市民大会》

映画「ちょっと今から仕事やめてくる」上映会 出演：福士蒼汰 工藤阿須加

「長時間労働」「パワハラ」などを扱い、働く人の共感を呼んだベストセラー小説の映画化。ブラック企業で働く青山(工藤)は、疲労のあまり駅のホームで意識を失い、危うく電車にはねられそうになってしまう。すんでのところで青山を救ったのは、幼なじみのヤマモト(福士)と名乗る男。だが、青山には彼の記憶がまったく無かった……。

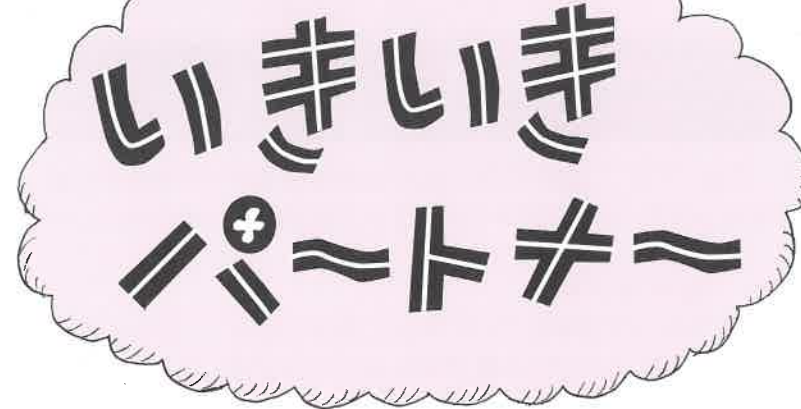
入場無料

- 日 時：平成30年2月24日(土)午後1時30分～(開場：午後0時45分)
  - 場 所：諏訪市文化センター
  - 対 象：諏訪市在住者、在勤者、在学者 ●定 員：900名(当日先着順、事前申し込み不要)
  - その他：定員に達した場合は入場をお断りさせていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。駐車場は諏訪市多目的広場をご利用ください。暖かい服装でお出かけください。
- ☆託児サービスがご利用いただけます。(事前申し込み必要：先着15名：対象：6ヵ月～小学校就学前まで) 2月14日(水)までに、諏訪市地域戦略・男女共同参画課まで電話にてお申込みください。

編集後記

「諏訪発!働き方改革～進化する職場と子育て～」ともに生きる諏訪市民セミナーは、安藤哲也氏の講演会及び地元企業の経営者の方々をパネリストに、パネルディスカッション、ワイワイ・ガヤガヤの生活サポート講座は、グループワークショップ形式で開催しました。「いきいき市民推進チーム☆輝くSUWA」も改名2年目。男性会員も増え、活動用Tシャツ(前面に「I☆SUWA」、背中に「いきいき市民推進チーム☆輝くSUWA」のロゴマーク付き)を作成しました。男女共同参画計画「男女いきいき諏訪プランVI」も2018年度より取り組みが始まります。益々進む少子高齢化社会、腕をこまねいてはいただけません。上記「諏訪発!働き方改革」のとおり、男女の区別なく、今後の諏訪のため、ひいては日本社会のためを見据えて活動を推し進めていきたいものです。

男女共同参画情報紙



ともに生きる諏訪市民セミナー

「諏訪発!働き方改革～進化する職場と子育て～」

7月1日

昨年7月、父親の育児参加を支援するNPO法人「ファザーリング・ジャパン」(東京)の代表理事、安藤哲也さんを講師にお招きし、講演会とパネルディスカッションを諏訪市総合福祉センターで開催しました。テーマは企業の男性従業員の育児参加、そして部下の育児参加に理解のある経営者や上司「イクボス」です。

「育児も、仕事も、人生も、笑って楽しめる父親を増やしたい」と話す安藤さんは、2006年にファザーリング・ジャパンを設立しました。

講演で安藤さんは「私たちは、会社に尽くし、長時間勤務によって成果を出す仕事のやり方から業務の効率化を図り、1人当たりの生産性を高める働き方に転換せざるを得ない社会をきている」と指摘。長時間労働を美德とする職場の意識を企業のトップから変える意義を強調されました。少子化社会では人を採用できない企業が増えているとし、「仕事と生活の調和が取れない企業は生き残れない。『ワーク・ライフ・バランス』はもはや福利厚生ではなく、企業戦略だ」と語りました。



後半は、地元企業経営者らと交え、地方から働き方を考え、発信するためのパネルディスカッションです。パネリストは諏訪商工会議所の岩波寿亮会頭(スワテック建設株式会社代表取締役社長)、諏訪赤十字病院の大和眞史院長、株式会社共進の五味武嗣代表取締役社長、企業としても個人としても『ワーク・ライフ・バランス』を実践しているシナノケンシ株式会社の寺尾雄二郎グローバル人事・総務グループグループマネジャーが務め、安藤さんの司会で議論を深めました。

この中で五味社長は「仕事が生活の手段であるならば、効率的に行う方が企業にとっても従業員にとっても良いこと」とし、5月に「イクボス宣言」をした大和院長は「職員の勤務環境の改善を図り、育児や介護をしながら仕事が続けられる職場づくりのプログラムを進める」と説明。岩波寿亮会頭の「イクボス宣言」で会を締めくくりました。

講演会とパネルディスカッションを通じて感じたことがあります。子育てに父親が参加することで女性の職場復帰が実現し、労働力の確保ができるだけでなく、男性が子育てで得た協調性や寛容は、家庭や地域とのコミュニケーションを円滑にします。そして何より、家庭をあまり省みなかった父親を「笑顔のパパ」に変えることで働き方が変わり、人生を楽しむ姿は地域を変えていくのではないのでしょうか。





# いきいき市民推進チーム☆輝くSUWAの活動

## 生活サポート講座 「ワイワイ・ガヤガヤ井戸端会議」 家族編：10月19日 地域編：10月30日

平成11年に「男女共同参画社会基本法」が、平成15年に「諏訪市男女共同参画推進条例」が制定されましたが、身近な家族間や地域社会の取組みの実情について、グループワーク形式で情報交換をしました。

### ◎家族編 コーディネーター：産業カウンセラー 北村 けい子さん

家族への不満、役割分担、男女共同参画社会家族の意識等について自由に情報交換をし、まとめ講義として、家族間の思いやりのコミュニケーションの取り方について体験学習を交えて学びました。参加者から「家族間であっても思いやりの気持ちを持つことの大切さを改めて気づかされた」との感想が多くありました。



### ◎地域編

長年ご協力をいただきました「区役員アンケート」の中に、島崎一区から「女性の参画によって区政が変わってきた」との声が届いておりましたので、具体的な状況についての意見交換をしました。

今年初めて女性の公民館長と衛生自治会長が誕生したとのことでしたが、「自然発生的のように見えるかも知れませんが、男女共同参画社会の土壌が育ちつつあることを実感している」とのお話が強く印象に残りました。

## 長野市地域女性ネットワークとの交流会 11月15日



昨年7月に私たちが長野へ行き、長野市地域女性ネットワークと懇談会を持ちましたが、今度は長野の方々が諏訪を訪問され、更に深い内容の話し合いをしました。地域女性ネットワークは長野32地区からの代表の方々に構成され、それぞれの地区が予算をもらい活動をしており、そのうち周辺の3地区の女性中心の活動報告がありました。中心地域の自治会の役員はまだまだ男性中心なので女性の活動を推進していかなければ、という事でした。



昨年7月に私たちが長野へ行き、長野市地域女性ネットワークと懇談会を持ちましたが、今度は長野の方々が諏訪を訪問され、更に深い内容の話し合いをしました。地域女性ネットワークは長野32地区からの代表の方々に構成され、それぞれの地区が予算をもらい活動をしており、そのうち周辺の3地区の女性中心の活動報告がありました。中心地域の自治会の役員はまだまだ男性中心なので女性の活動を推進していかなければ、という事でした。

## 諏訪市議会議員との意見交換会 10月10日

諏訪市議会議員との意見交換会を、諏訪市文化センター集會室で開催しました。

テーマは女性の ①政治参画 ②働き方。

当会からは十数名が参加、市議会議員は全15名にご参加いただき、それぞれテーマに関する「現状課題」「解決策」「あるべき姿」をポストイットに書いて持参しました。

両者混合で5グループに分かれ、模造紙に持参した意見や出した意見を書き加えて、各グループが順に発表しました。



最後に挨拶に立った女性議員さんから、家業、家事、育児、地域活動など何役もこなす大変さなどの話が有り、その思いを共有することができました。



## 市内企業視察研修 「株式会社 太田屋」 9月19日



長野県下一円に葬祭事業等を展開している株式会社太田屋（従業員数273名）を視察致しました。「男女共同参画から見た現状と課題」という件について、社長さんから率直なお話を聞き、次の様な感想を持ちました。

- ・主事業が葬祭なので、土・日・祭日勤務の24時間対応という事から、正社員は男性が多い。
- ・女性の管理職登用については、能力を評価して管理職の打診をしても責任の重さから消極的である。（世間の目、価値観の違いもある。）
- ・賃金は、性差ではなく、技能によって分けている。
- ・定年後の高齢女性社員の再雇用（現在75歳技能職）1名が活躍していることは、明るい話題。

最後に、「ひとり親女性が正社員を希望して数年経っていますが…」という質問に対して、その事は把握していなかったとの事で、会終了後、社長さんが社員の名前を聞きに来られました。その対応の早さと会社の前向きな姿勢が感じられ、希望が持てる会社だと好感が持てました。

お忙しいにも関わらず、快く視察をお受けいただきました株式会社太田屋に、心よりお礼申し上げます。



## その他の主な活動

- ・諏訪市役所ロビー展「男女共同参画週間」(6月)
- ・諏訪市図書館ロビー展「DV・デートDV防止」(11月)
- ・「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」参加(6月21日 東京国際フォーラム)

## 会員募集!!

だれもが自分らしくいきいきと暮らすことができる社会「男女共同参画社会」を目指して、老若男女が楽しく活動しています。子育て世代の方も大歓迎です(託児支援制度があります)。お気軽にお問合せください。